

バリアフリーペンション  
まついだ  
森の家通信

No24 2017.11.1  
NPO法人まついだ森の家  
〒379-0211  
安中市松井田町上増田670  
TEL/FAX027-393-0655

存続。そして新しい道へ……



特別  
報告

- |       |                      |      |               |
|-------|----------------------|------|---------------|
| P 1   | 表紙                   | P 8  | おいで祭り         |
| P 2.3 | 存続の難しさ               | P 9  | DET研修         |
| P 4.5 | 新事業の開始               | P 10 | 応援してます (YOKO) |
| P 6.7 | こんなお客様が<br>いらっしゃいました | P 11 | 会費寄付お礼        |
|       |                      | P 12 | 裏表紙           |



## ご支援いただいている皆様へ

### ①森の家の経営危機について

今年は、バリアフリーペンション「まついだ森の家」開設22年目、NPO法人化してから10年目になります。（以下「森の家」という）

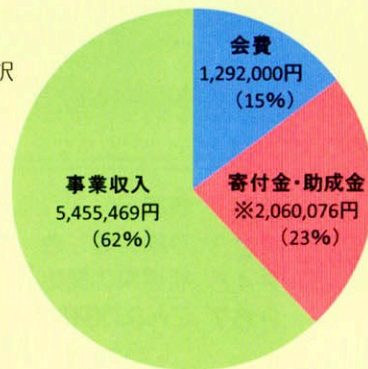
森の家は横浜で障がい福祉関係者・当事者とその親御さん数十名の出資により建てられ、障がいのある方々に安心していただけるきめ細かいサービスを提供してきました。

また、地域においても、障がいがあってもなくても共にすごせるオープンな居場所として各種のイベントを実施してまいりました。

しかしながら、当初より経営的には難しい状況がありました。観光地でない奥まった立地・小規模（15人定員）・低料金（1泊2食7,200円）という基本構造があり、さらにミキサー食や、付き添い無しの本人だけの宿泊に伴う金銭管理・外出支援等々の対応、少人数での貸切対応、お一人の長期滞在対応、当館独自の障がい者割引等々、通常では不採算となるサービスも実施してきました。

年間700人前後の宿泊客数は、スタッフの資質やキャパシティによるものでもあります。対象となる障がい者の絶対数が多くはないこと、冬場の雪や凍結による集客困難状況も相まって、ずっと低迷推移してきました。その面に対しては、300人近くの方からのご支持による会費寄付収入、あるいは赤い羽根共同募金会等の各種助成金より補填してまいりました。ここに改めて感謝申し上げます。

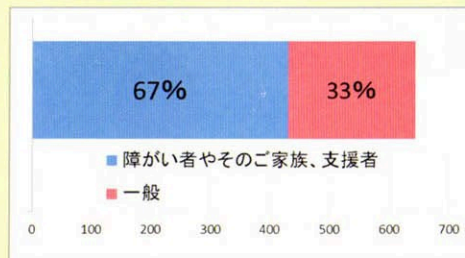
2016年度収入内訳



森の家は、皆様からの会費や寄付、また助成金によって支えられています。

※2016年度は、群馬県共同募金会からの募金及び助成金160万円を含む

### 2016年度宿泊客割合



森の家は、障がい者専用施設ではなく、すべての方にとって心地よく温かい場をこころがけてまいりました。その中で必要な方には必要な配慮やサービスを提供している点が、他にはあまりないと評価していただいています。

当初より専任スタッフはボランティア的報酬にて経営を維持してきましたが、20年を超えて、今後の事業継続のために後継者を確保し仕事に見合った給与体制を敷いたところから、現実的には大きな赤字が発生することとなりました。昨年度は約100万円、今年度は約120万円（後述する新規事業準備金40万円を含む）の赤字が見込まれております。

今の所、森の家は無借金で、赤字は、過去に積み立ててきた内部留保金を充当しております。しかしながら今後の経営継続には、建物および設備のリニューアル費用が不可避免的に必要です。従って通常の経営改善とは違った方策が求められており、理事会では引き続き模索が続いております。

今回初めて森の家の経営状況を「森の家通信」紙上にて詳しく会員の皆様にお伝えさせていただきましたのは、存続の危機にあることを共通認識としていただいたうえで、何らかのお力をお貸しいただきたくお願いする次第です。

\*今年度は一昨年に続き再び「赤い羽根選べる募金」に、選ばれてエントリー出来ましたので、1月より、皆様にお知らせさせていただきます

\*また認定NPO法人手続きも申請中です。

更に詳しい財務状況につきましては、県のNPO法人の情報公開ページよりご覧ください。

検索  →  → [くらし・環境](#) → [NPO・ボランティアの広場](#) → [NPO法人データベース](#) → [まついだ森の家](#) → [事業報告書](#)



ご支援いただいている皆様へ

## ②森の家の新事業の開始について

今後の森の家に、公的福祉事業を導入することはかねてより検討されてきましたが、今回9月21日の理事会決定として、障がい福祉サービス事業所を立ち上げ、訪問介護サービスを始めることになりました。4月開始を目指して各種準備中です。

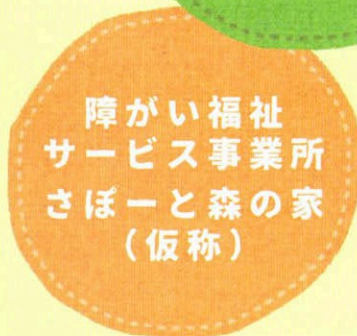


障がい者福祉サービス事業の開始につきましては、その業態、成否の検討、また理事間の意見一致までの議論に時間を要しました。そのため、皆様へのお知らせが遅れておりましたこと、お詫び申し上げます。

訪問介護事業につきましては、森の家が現在所有している設備を活かし、今まで培ってきた人的資源と人脈を活かして、不足している地域のニーズに対応できる、社会的貢献の意味ある事業として選択いたしました。

新しい事業は、軌道に乗るまでに道のりはもちろん容易なものではありませんが、理事長高尾を筆頭に、現任スタッフ、新しいスタッフ、ボランティアスタッフ共に、手探りしつつ、わくわくしつつ、前にすすんでいきます。この方面の先輩事業所様にもご協力いただいております。

皆様におかれましては、ご理解と応援の程よろしく願いいたします。



なお、バリアフリーペンションまついだ森の家の宿泊事業は継続してまいります。一部受け入れ態勢の見直しを行う予定です。

### 訪問介護事業の内容について

国の「障害者総合支援法」に基づく在宅支援サービス事業である「居宅介護」「重度訪問介護」「同行援護」及び「行動援護」、及び市町村独自の「移動支援事業」を実施します。



「まついだ森の家は、  
我が家の☆☆☆お宿です。」

三ツ星!



我が家は娘が脳性マヒで、介助用車いす使用、食事はペースト食です。最近の宿泊施設は建物のバリアフリー化は進んできたし、食事でも検索すると「ミキサー食対応」という宿は見受けられるようになりました。でも実際に行ってみると、手は加えてあるものの、かなり粗い状態で供されてがっかりということもありました。また、娘が食事の途中でむせてしまい、他の宿泊者にご迷惑ではと気が気でなく…という場面もありました。

このような我が家にとって、「森の家」は、とても安心して泊まれる宿です。まず建物ですが、いつも利用する1階の洋室は、3人+車いすを入れても問題ない広さで、館内一階は玄関アプローチから段差無しです。お風呂も貸し切りで、脱衣室には介助用ベッドもあるので不自由なく使えます。浴槽も広くてとてもゆったりできます。

さて、一番のお楽しみは食事。メイン料理はもちろん、スープやデザートも手が込んでいていつも美味しくいただいています。娘の分も食べやすく加工調理され、3人が同じメニューを食べられるのがうれしく親子共々いつも完食です。そうそう、ポットで出されるミント水も私のお気に入りです。食堂はこじんまりとしたスペースで、気兼ねなく食事ができます。

そして、何といてもスタッフの皆さんが娘の身体状況のことを良く理解してくださっていますので、本当に安心、そしてリラックスできます。このようなホスピタリティあふれる内容で、今の宿泊料金はとてもコスパが良いです。経営は大変だと思いますが、周辺には軽井沢や富岡製糸場、榛名湖などの観光地もあるから、お宿自体の良さと周辺環境の魅力もアピールして、外国の方々も含めてもっと利用していただける実力が秘められていると感じます。(あまり有名になって予約が取りづらくなると困りますが・・・) 私も微力ながらこれからも応援していきます。

山根純一・友子・英里子

「何回も来てますが・・・」

今年の夏の旅行はまついだ森の家に6人で宿泊をしてとても満足でした。毎年親子3人で森の家に宿泊していますが、今回やっとおばあちゃんを連れて行く事ができました。おばあちゃんもとても満足していました。おばあちゃんの東京での生活は色々大変なのでゆっくりしてもらいたくて、親戚の子供たちも一緒に2泊しました。

いろいろな宿泊施設の中でも、まついだ森の家のスタッフさんは、特に障害者の人にやさしく親切に対応してくれます。まついだ森の家に宿泊をすると、いろいろな配慮を提案してもらえるので、余計な心配はしなくて済みます。

まついだ森の家は平日の宿泊がおすすめです。スタッフさんの手が空いていれば、車で移動支援をしてもらえます。私たち6人は車でいろいろな所に連れて行っていただき、行く所も割引料金で入れる施設が多く、助かりました。

疲れていたので夜はマッサージをお願いしましたが、女将さんが視覚障害のマッサージ師さんを宿の車で送迎をしてくれて、その夜はぐっすり眠れました。

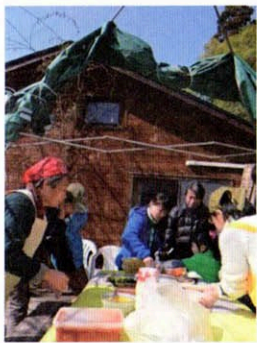
翌日の朝早く起きて玄関前で聞く野鳥の声がとても心を癒します。時間が経つにつれて野鳥の種類も変わります。森の木や野鳥の声、虫の声、風が吹き、それらがみんな1つになり耳に入ってきます。森の香りもして何ともいえない爽快感で今年の私の心はすっきりしました。

次はまついだ森の家でバーベキューがしたいです。



渡辺壮一





春夏秋冬、年4回開催している  
おいで祭り。旬の素材をふんだん  
に使った美味しい料理、手作  
りワークショップ、川遊び、楽器  
演奏、パザーなど、盛り沢山の  
メニューがたったの500円で楽し  
めると大好評!! 大人も子ども  
みんなで楽しみましょう!!



みんなおいで祭り 2017年晩秋  
おいしい秋を  
食べに来て!  
11月11日(土)  
11時~14時

会場 まついだ森の家  
〒379-0211安中市松井田町上増田670  
TEL/FAX 027-393-0655  
参加費 500円で食べ放題飲み放題!  
主催 バリアフリーベンション  
まついだ森の家  
お問い合わせ 027-393-0655 根岸まで

見せます! 蒸らせます!

今年最後の  
おいで祭り!

キャンプかなー  
キノコかなー

## DET 研修 in まついだ森の家

DET (disability equority training)

「障害平等研修」の略です。障害者差別解消法を推進するため、障害当事者がファシリテーター(司会進行役)となり、参加者は対話を通じた「発見」を積み重ねていくなかで、差別や排除など、社会のなかにある様々な「障害」についての理解を獲得していくワークショップ型の新しい形の研修です。



このプログラムは、1980年代のイギリスの人権平等・差別禁止の潮流の中での一つの教育手法として発展したもので、日本でも、障害者差別解消法の施行と、2020年のオリンピック・パラリンピックを視野に入れて、急速に取り入れられてきました。

森の家では8月、前橋「あびりてい」さんのご縁により、当事者ファシリテーターとして、DET群馬の高橋さん、細野さんにおいでいただき、参加者13人で和やかに開催。半数は2回目以上の方、東京からのご参加もありました。

森の家で、今後も開催を予定しています。



開っこ  
おがみの感想

国際的に認知されている新しい「障がい」の認識は、日本ではまだまだ違和感があると感じます。この研修が、子供たちの中に広がっていくといいなと思いました。



森の家 応援してます！



団塊世代、企業戦士を勤め上げたご主人と奥様の夢は田舎暮らし。森の家設立当初からの支援者ですが、昨年ついに浦和駅前のマンションから森の家の奥に自宅を建てて移住。

← 自宅で  
Cafe「さんぽ道」してます。

ここまっぴだ森の家の周りの里山には宝物が一杯で、人生で一番いい所に住んだと感じています。首都圏での暮らしから思うと、空気、水、自然、風景など、劇的に良い環境です。里山の新鮮な収穫物をすぐ料理。草刈りも、家の周りにやってくる鳥たちを見るのも、思い立ったらすぐ自然の中へ出かけられるのもうれしい！ そんないいところにある森の家を、もっと知ってもらい、来てもらうために、何でもお手伝いをしたいと思っています。(洋子)

**YOKOの遊膳**

洋子さんのランチ、4月からはじまっています。  
その名も「YOKOの遊膳」  
作り手のしあわせが伝わる創作料理です。

月2回・随時・1000円・限定10食。ご予約下さい。

**正会員**

天田 和也、今井 匡、内田 康子、小日向 和博、狩野 洋子、上泉 歩、木下 美幸、黒羽 知代、高尾 寛之、瀧澤 久美子、富樫 真澄、根岸 章浩、根本 由紀子、星野 和二・延子、三木 順一、三木 洋子、須藤 昇

**賛助会員**

甘田 恵子、新井 博一、飯沼 由紀子、石井 義通、石橋 邦和・與子、今井 茂、今村 井子、岩崎 和子・久人、上野 正・敬子・英雄、上原 静子、潮 晴美、江原 幸源・かおる・由真、大橋 好江、岡 寿子、岡庭 秀雄・潤子、沖山 雪子、小田 みゆき、狩野 昇、川島 真理子、川田 明美、神戸 昌子、北岡 三知男、木村 薫、久住 由紀子、黒羽 正明、小林 栄里子、小林 彌、小林由美香、小宮 弥生、櫻井 郁、櫻井 喜久江、櫻井 三喜子、佐藤 和枝、佐藤 祥子、佐藤 千賀子、佐橋 裕子、澁谷 惇江、島野 健太郎、白川 紀子、須藤 いく子、高石 知枝、高階 ミチ、高橋 洋子、竹中 志津子、田中 美香、田淵 勝也・玲子、霸田 みずき、長居 由子、永井 利恵、中尾 新之、中込 勝子、中澤 康子、仲世古 隆臣、中西 雅人、能登 宣彦、能登 美津子、浜本 洋・典子、林崎 正史、原田 てる子、東出 桂子、平井 美子、深津 弥恵子、福田 晋児・典子、藤尾 正栄、古川 佐喜子、古溪 繁子、堀込 進、本多 栄一、本多 操、本田 豊・奈穂、黛 恵美子、黛 丞、丸山 輝彦、茂木 英子、森下 修、森下 博子、山川 賢治・玲子、山口 克美、山田 隆広、山本 美智子、湯本 見千子、横谷 香代子、吉崎 睦美、若林 泰秀、武者 葉子、山崎 信介、山崎 勝美、木名瀬 正行・陽子、根岸 高子

**法人・団体会員**

(株) ひねもす	(株) 環境システムズ	(福) かんの里	(福) トモロの森
-------------	----------------	-------------	--------------

**寄付** YOKO遊膳、佐藤 かほる、櫻井 郁、瀧澤 久美子、伊藤 静江、若林 泰秀、三宅 捷太、山根 純一、熊谷 充子、広澤 里枝子、たんぽぽ、上野 敬子、桑田 一男、大久保 妙子、木村 薫、川島 真理子、飯沼 和枝、匿名希望

**ボランティア** ピザ作り(星野)、草刈(進藤・石橋)、ランチ遊膳(三木)、バザー(佐藤)、通信編集(多胡・能登・児玉)、おいで祭り(たくさんの皆様)

敬称(省略)

**物品寄付** 米、じゃが芋、サトイモ、玉ねぎ、キャベツ、ナス、イチジク、チーズ、手作りジャム・ハーブソルト類、切り花、花木、薪、ヒバクリーン、サイドテーブル、デッキチェア

皆様からの変わらぬ温かいご支援に心から感謝申し上げます。

今年度森の家では一昨年に続き再び  
「赤い羽根選べる募金」に  
エントリーすることが出来ました！  
詳細は追ってご案内させていただきます。  
2018年1月から3月の3か月間！  
どうぞよろしく願いいたします！！



ホームページ 「まついだ森の家」で検索  
<http://www.normanet.ne.jp/^morinoie/>

Facebook H・Pからご覧いただけます  
<https://www.facebook.com/kimizutsuchi>

メールアドレス ご意見お待ちしております  
[matsuida-morinoie-2007-npo@amber.plala.or.jp](mailto:matsuida-morinoie-2007-npo@amber.plala.or.jp)